

『朝日大学経営学会設立25周年』 記念行事(報告)

朝日大学経営学会設立25周年記念行事として、「朝日祭」における『ゼミ対抗パネルポスター展』および『記念式典』における『記念講演』を以下のとおり実施した。

1 『ゼミ対抗パネルポスター展』

朝日大学経営学会会員が所属する各ゼミにおける日頃の研究成果あるいはアクティブラーニング等の成果を発表し、ゼミ選択を控えた1年生会員が自己実現に最もふさわしいゼミを発見する場とし、さらには経営学部各ゼミの取り組みを地域に紹介する機会とすることを目標として、「朝日祭」開催期間中（10月21～23日）に、『ゼミ対抗パネルポスター展』を開催した。

本ポスター展は二部門から構成され、研究成果を発表する「研究部門」に14作品、アクティブラーニング等の成果を発表する「アクティブラーニング等部門」に29作品の出展があった（表1）。

開催期間中、来展者に「部門ごとに評価できる作品」を選んでいただき、回答を集計した結果、「研究部門」で土井ゼミの『岐阜県のイチゴと輸送用段ボールの研究(写真A)』が、「アクティブラーニング等部門」で奥山・矢守ゼミの『出張講義in北海道紋別市(写真B)』が『大賞』を受賞した。さらに、多くの作品を出展した畦地ゼミ・土井ゼミ・中畑ゼミ・村橋ゼミ・米田ゼミに対し『奨励賞』が授与された。

表1 『ゼミ対抗パネルポスター展』 出展作品一覧

| ゼミ | タイトル | 部門 (注) | |
|---------|---|--------|----|
| | | I | II |
| 畦地ゼミ | 中山道美江寺宿に関する文献研究 | ○ | |
| | 中山道美江寺宿の現状と振興策(1) | ○ | |
| | 中山道美江寺宿の現状と振興策(2) | ○ | |
| | 中山道美江寺宿の現状と振興策(3) | | ○ |
| | 中山道美江寺宿の現状と振興策(4) | | ○ |
| | 穂積駅北口から甘味処へ | ○ | |
| | 瑞穂市における水関係地名の収集と整理 | ○ | |
| | 朝日祭での出店による店舗経営の実地体験 | | ○ |
| 新井ゼミ | 岐阜県スポーツマップ | | ○ |
| 荒深ゼミ | 企業の成否・盛衰を決定する要因は何か | | ○ |
| 板谷ゼミ | All your dreams can come true if you have the courage to pursue them. | | ○ |
| 岩崎ゼミ | 社長を体感する (ビジネスゲームとケーススタディとで学ぶ) | | ○ |
| 荻久保ゼミ | 瑞穂市内《トマソン》調査 | | ○ |
| 奥山・矢守ゼミ | 出張講義 in 北海道紋別市 | ◎ | |
| 神谷ゼミ | スポーツ栄養研究会 活動報告 | | ○ |
| 小島ゼミ | 減価償却計算がトラック運送事業者の経営に与える影響 | | ○ |
| | 重量物輸送トラックによる輸送コストに関する研究 | | ○ |
| | 橋上における強風が輸送時に与える影響に関する研究 | | ○ |
| | 岐阜県のイチゴと輸送用段ボールの研究 | | ◎ |
| | 船場大阪の歴史と現状の研究 | | ○ |
| 土井ゼミ | ジンバブエの歴史と世界遺産 | | ○ |
| | 現代に繋がるブルネイ改宗の歴史 | | ○ |
| | 平和からみたコスタリカ | | ○ |
| | 呼称・国旗問題から見たマケドニア | | ○ |
| | 『未来を育む Woman ACTION』野菜スイーツ開発 | | ○ |
| 中畑ゼミ | 地元マンゴーを使った商品開発 | | ○ |
| | 関ヶ原町 飲食店マップ作成 | | ○ |
| 服部ゼミ | 攻めのIT経営 事例調査 | | ○ |
| 松井ゼミ | 演劇ワークショップにおける学びの拡張：地域での外国人との共生をめざして | | ○ |
| | キャッシュフロー | | ○ |
| 村橋ゼミ | ディズニーでお金を使う理由 | | ○ |
| | 学生のSNSの使い方 | | ○ |
| | マクドナルドとモスバーガーの経営 | | ○ |
| 山田ゼミ | 知るから始めるわが町再生 | | ○ |
| 矢守ゼミ | 瑞穂市におけるAR技術を用いた水害避難誘導アプリケーションの開発 | | ○ |
| 横井ゼミ | 柔軟な企業が危機を乗り越え成長する | | ○ |
| 米田ゼミ | 名古屋能楽堂 バックステージツアーの見学 | | ○ |
| | 小唄と三味線の体験 | | ○ |
| | 青海省 チベット | | ○ |
| | 中国で一番大きい辺境の都市 遼寧省丹東市 | | ○ |
| | 中国の一番寒いところ 黒竜江省ハルビン市 | | ○ |
| | 中国四川省涼山 | | ○ |
| | 星と鬼の町 東栄町 | | ○ |

(注) 部門Iは「研究部門」、IIは「アクティブラーニング等部門」による出展(○印)を示す。
◎印は、各部門における『大賞』受賞作品を示す。

経営学部4年 土井ゼミ 清水友樹 水谷翼 古岡貴善

岐阜県のイチゴと輸送用段ボールの研究

岐阜県には「美人姫」をはじめ、「濃姫」「美濃姫」「華かがり」といった品種のイチゴが栽培されている。しかし、岐阜県イチゴは年々収穫量が減少している。また、イチゴの輸送には段ボール容器が多く使われているが、輸送中の振動や衝撃で傷みやすい。振動や衝撃からイチゴを守るために宙吊りトレイをはじめ輸送用什器の開発が進められている。

Keyword: イチゴ 収穫量 輸送 段ボール 宙吊りトレイ

1. はじめに

昨年、岐阜県で新品种が完成したイチゴ「華かがり」。岐阜県と言えば1粒数万円の高級イチゴ「美人姫」が有名だが、「華かがり」をはじめ図1のように様々な品種のイチゴが岐阜県にはある。しかし岐阜県のイチゴは年々収穫量が減少している。今回は岐阜県のイチゴに焦点を当て、収穫や梱包に関する特徴を考察していく。



美人姫 (1粒5万円)



濃姫 (1P200円)



華かがり (1箱2980円)



美濃姫 (1P400円)

図1 岐阜産イチゴ(代表価格)⁽¹⁾

2. 岐阜県イチゴの収穫量

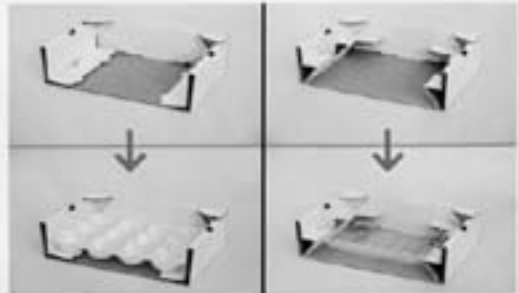
岐阜県イチゴの収穫量は年々減少している。国内のイチゴ総生産量は約164000tで、2012年から横ばいの推移を辿っている。一方岐阜県のイチゴの生産量は国内第13位で約3000tである(2013年)⁽²⁾。岐阜県イチゴは今後収穫量が増加するか、または減少するか指数回帰式による回帰分析を行った。収穫量とそれに基づいて算出された指数Tを元にグラフを作成したものが図2である。収穫量だけ見ると、数値は増減しているが、全体を通してみると収穫量は大きく右肩下がりになっている。おそらく今後も岐阜県のイチゴ収穫量は減少するだろう。

3. イチゴの梱包

イチゴの輸送には図3の宙吊りトレイといわれる段ボールケースを使用している⁽³⁾。繊細なイチゴは輸送中の振動や衝撃などにより、実が傷んでしまうことが多い。その振動や衝撃からイチゴを守るために開発されたものが宙吊りトレイである。段ボールの底にトレイが接触していないことが一番の特徴であり、持ち上げるため(ひっかけるため)の工夫がなされている。そのため、箱の底にイチゴが接触しないため、振動や衝撃から守ることが可能となる。



図2 岐阜県イチゴ収穫量の指数分析

図3 宙吊りトレイ⁽³⁾

4. まとめ

岐阜県では宙吊りトレイなどの輸送用什器の開発が進められている。今回のイチゴ専用の宙吊りトレイに関しては、宙吊りトレイがどのくらい普及しているのか、他にどのような容器が存在するのか調査し、どの容器が多く使われているのか、販売価格と物流コストを踏まえた今後の輸送について検討していく必要がある。

参考文献

- (1) 岐阜県のイチゴ
<https://www.jan.or.jp/gallery/strawberry.html>
- (2) 岐阜県公式ホームページ
<http://www.pref.gifu.lg.jp/sangyo/nogyo/nosanshu/tsu/11423/tokei.html>
- (3) 協和ダンボール
<http://www.kyowa-d.co.jp/case-study-01/>

出張講義 in 北海道紋別市



3Dプリンター
・3DCAD、3DSCデータをもとに立体（3次元のオブジェクト）を造形する機器の内容などを紋別高校にてプレゼンテーションしました。プレゼントとして3Dプリンターで作成したものがご用意です。



ドローン

・最近よく聞くドローンを体験してもらい興味や可能性を感じてもらいたいと思っていました。どの学生も興味を持ち積極的に参加していました。



奥山・矢守ゼミ



VR

・最近流行りのVRをヘッドセットというものを使い、実際に体験してもらいました。高校生の反応も良く大興奮でした。



出前講義

・最新の情報通信技術を駆使しながら、地域の課題（過疎化や高齢化など）を楽しく解説するための勉強会を開催しました。



写真B 奥山・矢守ゼミ『出張講義in北海道紋別市』(アクティブラーニング等部門)

2 『記念式典』 および 『記念講演』

11月19日午後、朝日大学6201教室において開催された『記念式典』には、経営学部教員及び学生の会員のほか、本学関係者・産学連携企業関係者・高大連携高校の教員・瑞穂市関係者等の来賓、地域住民、OB会員等、300人弱が参加した。

式典では、岩崎大介会長（経営学部長）の挨拶ののち、来賓祝辞、祝電披露に続き、『ゼミ対抗パネルポスター展』の結果発表と顕彰が行われた。

『記念講演』では、第5回ものづくり日本大賞「経済産業大臣賞」を受賞された浅野撚糸株式会社代表取締役社長の浅野雅己氏を講師に迎え、『この泥あればこそ咲け蓮の花—落ちこぼれが追いかける夢—』との演題で講演いただいた。

講演の後、浅野雅己社長、岩崎大介会長、中畑千弘教授（朝日大学マーケティング研究所長）による座談会が行われ、生き残りを賭けた経営管理、商品開発の背景、地域での点をつなぐ産業連携について熱く議論され、参加学生からの質疑応答も交え、逆境からビジネス・チャンスを見出した同社に対する理解を深めた。